

ほほえみ



第45号(平成27年7月)
発行：小山市教育委員会

今年も、小山市「いじめゼロ子どもサミット」(3年目)を開催しました。

(平成27年5月25日 小山市立文化センター小ホールにて)

子どもたちの自主的な話し合いを通して、いじめのない笑顔あふれる学校にすることをめざし、1年目(25年度)は「いじめゼロ宣言」を採択、2年目(26年度)は、中学校区単位で「いじめゼロスローガン」を決め、各学校で活動を進めてきました。

今年度は、各学校での取組について情報交換し、自校に生かすための話し合いをしました。(各小学校代表1名、各中学校代表2名。計49名参加)話し合った後、各自がワークシートにまとめ各学校に持ち帰りました。話し合いの主な内容を紹介します。

自分の学校の取組を評価され、自信を持つことが出来た。

- 「あいさつ大使をまねしたい」という意見が出た。
- 取組のすごさがわかった。
- 「ありがとう渡し」を広げたい。
- 生活ノートの便利さを再確認した。

良い取組を取り入れようとしている

- みんながいじめゼロ宣言を暗記し真剣に取り組んでいるところがいい。
- 親切の花カードを書くことやMVPを発表することなどをやってみたい。
- 「いいところ見つけ会社」などユニークな取組が多かった。

言葉について考えたこと

- 「あったか言葉」や「ふわふわ言葉」を遣って会話する。
- 言われてうれしい言葉を遣う。
- オアシスサ運動をやっている。
- 気づいたら進んで声をかける。
- 失敗してもドンマイと声をかけ合う。



《グループでの話し合いの様子》

☆参観者の感想☆

- 他校の取り組みや意見を聞くことができ、自分達に出来る事があると気づき、とても有意義な時間を過ごせたようで良かった。
- 今日の話合いで他の学校の良いところを自分たちの学校でも実行してみようという前向きな考え方が立派だと思う。



「小山市いじめ等防止市民会議」(3年目)について報告いたします。

(平成27年6月22日 小山市立文化センター小ホールにて)

「いじめゼロ子どもサミット」を受けて、1年目(25年度)「おやまのよい子を育てる大人宣言」を採択し、2年目(26年度)は子どもたちのために大人ができることについて話し合い、参加された各団体により取組を進めてきました。

今年度は、「大人の言葉遣い」について課題や解決策について熱心な話し合いが行われました。その内容を紹介します。(2回目はH28・1・18(月)実施予定。)

大人の言葉遣いの影響力

- 表現力不足になっている。感情で話してしまうので、相手の心を受け入れるゆとりをもつことが大切。
- 家庭や地域でコミュニケーションの機会を増やし、子どもの視点で言葉をたくさん聞くようにするとよい。

「悪語」「怒顔」について

- 言葉と表情のずれがある。表情を意識して(鏡で「和顔」を確認)会話する。
- 名前の呼び捨てや八つ当たりなど、言葉がきつい。ルールとして「さん」を付け、家族でも優しさをもって接する。
- 「和顔愛語」を心がけたい。

大人の姿勢

- 相手に分かりやすい言葉や優しい言葉を遣っているか疑問。
- マイナス言葉(否定・命令・決めつけなど)や日本語の乱れがある。PTAとして親学を勧めたい。
- 人と人との信頼関係を築くことが大切。



《グループでの話し合いの様子》

☆参観者の感想☆

- 家族間のコミュニケーションが大切だと気付かされた。グループの皆さんの笑顔が見られるようになり、充実した話し合いがされていると思った。

「和顔愛語(わがんあいご)」の意味(和やかな表情で思いやりの言葉を発すること)を紹介し、話し合ったことをもとに各団体で出来ることを考え、実施しています。また、1月の市民会議では、実施したことや気付いたことなどを報告し合う予定です。

『第37回 人権講演会』のお知らせ

- 日時：平成27年8月17日(月) 13:20開場 14:00開演
- 場所：小山市立文化センター 大ホール ※入場は無料です。
- 演題：「戦後七十年に寄せて。平和の歌」
- 講師：海老名 香葉子 さん(エッセイスト)
泰 葉 さん(シンガーソングライター)

※座席は自由席です。学校に事前申込みをされても座席の確保はございません。
※駐車場の台数には限りがございます。できるだけ公共交通機関をご利用ください。